ノ如シ。

(53) くさすぎかづら
所謂天門冬ニシテ根ヲ砂糖ニ漬ケ、菓子トシテ古來用キシモノナリ、島民利用セズ。

(55) てつぽうゆり　說明略ス。

(58) はまおもと　中之島ノ條參照。

(59) あをのくまたけらん
中之島ト同ジクしやにんト稱シ、繩ヲ作ルニ用キラル。

(63) しひのき　說明略ス。

(68) がづまる　中之島ノ條參照。

(70) しまぐわ　同　上。

(71) からむし　同　上。

(83) うどのき
此植物ハ分布上極メテ興味アルモノナリ、小笠原琉球、臺灣ハ我國範圍內ニ於ケル產地トシテ知ラレシモノナルガ、惟フニ此島ガ從來知ラレシ此植物ノ產地ノ北限ナラン カ、果實ヲ包メル Anthocarp ノ表面ノ、縱ニ走レル五ツノ稜ヨリ粘液ヲ分泌セリ、是レ鳥類ノ羽毛、脚等ニ粘着シ、果實從テ種子ノ遠隔ノ地ニ運バル、ニ至ルナリ、此木ノ新芽ハ蔬菜トシテ食用ニ供セラル、モノナレド、島民之ヲ利用スルコトナシ。

(84) はまみつば

蔬菜トシテ食フベシ、本島人之ヲ利用セルヤ否ヲ聞カズ。

(85) つるな　同　上。

(89) からしううやく
庭園木トシテ觀賞セラル、モノナリ。

(91) びなんかづら　說明略ス。

(93) しまねなしかづら　中之島ノ條參照。

(93) やぶにくけい　同　上。

(96) いぬぐす　說明略ス。

(99) ぎょぼく
本島ニテモあまぎト稱ス、材ヲ刻リテいか釣リノ餌木ヲ作ル、本島民モ之ヲ利用ス。

(102) しまこんてりぎ
中之島ノ條參照。

(104) いそぎんしょう
內地ニテ盆栽トナシ愛玩セラル、ハ能ク人ノ知ル所ナリ。

(105) しやりんばい
中之島ノ條參照。

(114) ゑびすぐさ
內地ニテハ之ヲ栽培シ、はぶさうト同ジク、毒蟲ニ刺サレシトキ葉ヲ揉ミテ塗付シ、或吐喝喇群島殊ニ中之島及ビ寶島ノ植物ニ就テ

ハ葉莖ヲ煎ジテ藥用ニ供スルコト、人ノ能ク知ル所ナリ、本島人之ヲ利用セルヲ聞カズ。

(119) やはずさう

(121) しながははき　歐洲ニテハ右二種ノ植物ヲ牧草トシテ利用セル所アリ。

(123) くづ　說明略ス。

(134) くすのはかめがしは　此植物モ分布上甚興味アルモノニシテ、或ハ此島ガ此植物ノ產地ノ北限ナランカト惟ハル、沖繩、臺灣ニ產スルコトハ既ニ知ラル、此植物ノ果實ノ果皮ノ表面ヨリ赤色ノ分泌物生ズ、之ヲ集メテ得タル粉狀物ヲ Kamala 或ハ Glandulae Rottlerae ト稱シ、繰蟲ノ驅除劑トシテ用キラレ、又ハ絹ヲ黃色ニ染ムルニ用キラル、印度ヨリハ多少輸出セラルト云フ、尙種子ヨリハ Camil 油ト稱スル透明鮮褐色ノ油ヲ製シ得ト云フ、本島ニテハ利用セラル、コトナシ。

(142) ところあふひもどき　中之島ノ條參照。

(143) はまぼう　靭皮ノ纖維ヲ利用シ得ベシ。

(144) きんごとくわ

(145) おほぼんでんくわ　以上二種モ亦纖維ヲ利用シ得ト雖モ、本島ニテモ利用スルコトナシ。

(156) みつばぜり　說明略ス。

(159) はまぼうふう　同　上。

(166) Statice sinensis, GIRARD.

此植物モ分布上甚興味アルモノナリ、此植物ニ近似セル Statice Wrightii, HANCE. (むらさきいそまつ)ハ大島沖繩等ニモ產シ、余モ初メ此植物ヲ「むらさきいそまつ」ナランカト思ヒシガ、早田博士ノ鑑定ニ從ヒ、斯ク記シヌ、果シテ然ラバ我國ノ Flora ニ初メテ表ハレタルモノト認ム、S. sinensis, GIRARD ハ S. Fortunii, LINDL. ナル異名アリ、支那秦皇島ニモ之ヲ產スト云フ。

(167) おかてつ　材ハ用材トナリ、樹皮ヲ傷クレバ粘液流出シ固マリテ樹ノ如クナル、是レ一種ノ粗性ナル Gutta-percha ナリ。

(172) さくららん　中之島ノ條參照。

(189) えごま　說明略ス。

(197) くちなし　同　上。

(206) からすうり　同　上。

○結　論

一、吐喝喇列島ハ其位置ガ、九州南端ト奄美大島トノ中間ノ分子ヨリナレリ。

吐喝喇群島殊ニ中之島及ビ寶島ノ植物ニ就テ

一、周年霜雪ヲ見ズ、且ツ雨量潤澤ナルヲ以テ、植物ノ生育甚旺盛ナリ。

一、列島ノ北部ニ屬スル中之島ニ產スル自生植物ノ數約三百五十三種、其內九州本島南端以北ニ無キ分子約四十二種ヲ含ム。

一、列島ノ南端寶島ニ產スル自生植物ノ數ハ約二百二十八種、其內九州本島最南以北ニ無キ分子約三十六種ニシテ其內中立島以北ニ於テ見ザリシモノ二十一種ナリ。

一、當列島ニハ新種ト稱スベキモノ極メテ少ナシ、本調査ニ際シテ得タルモノハ Polygonum Kawagoeanum, Mak. (しまひめたで)唯一種ニシテ、尙他ニ疑問ノモノ數種アルノミ。

一、自生有用植物中、其產額多ク多少有望ト認ムベキモノハ次ノ如シ。

中之島ニテハ

Cortinellus Shiitake, P. Henn.	しひたけ
Podocarpus macrophylla, Don.	いぬまき
Trema orientalis, Bl.	うらじろえのき
Michelia compressa, Max.	をがたまのき
Ilex Othera, Spreng.	もちのき
Taonaba japonica, Szysz.	もくこく
Osmanthus bracteatus, Matsum.	なたおれのき
Cladium glomeratum, R. Br.	わあんぺら

寶島ニテハ

Pandanus tectorius, Sol. あだん

等ナリ。

一、余ノ渡島セル八月ノ季節ニ於ケル、中之島ノ栽培植物ハ總數七十一種ニシテ、寶島ニ於テハ三十七種アリ。

一、栽培植物中、內地人ニ取リ稍珍ラシキモノハ、中之島ノ Curcuma Zedoaria, Rosc. (がとゐの)、寶島ノ Dioscorea alata, L. (たいとよ)及南島共ニ多ク產スル Musa liukiuensis, (Matsu.) Mak. (りうきうばせを)等ナリ、(然レドモ「がとゐの」ハ中之島ヨリ近キ屋久島ニハ盛ニ栽培セラル、ヲ以テ、敢テ珍トスルニ足ラズ、又「たいとよ」モ內地ニテハ栽培セラルルコト稀ナレドモ、沖繩等ニハ盛ニ畑ニ栽培セラルルモノナリ、「りうきうばせを」モ奄美大島、沖繩ニハ極メテ普通ニシテ、內地人モ熟知セル所ノモノナリ。

補正

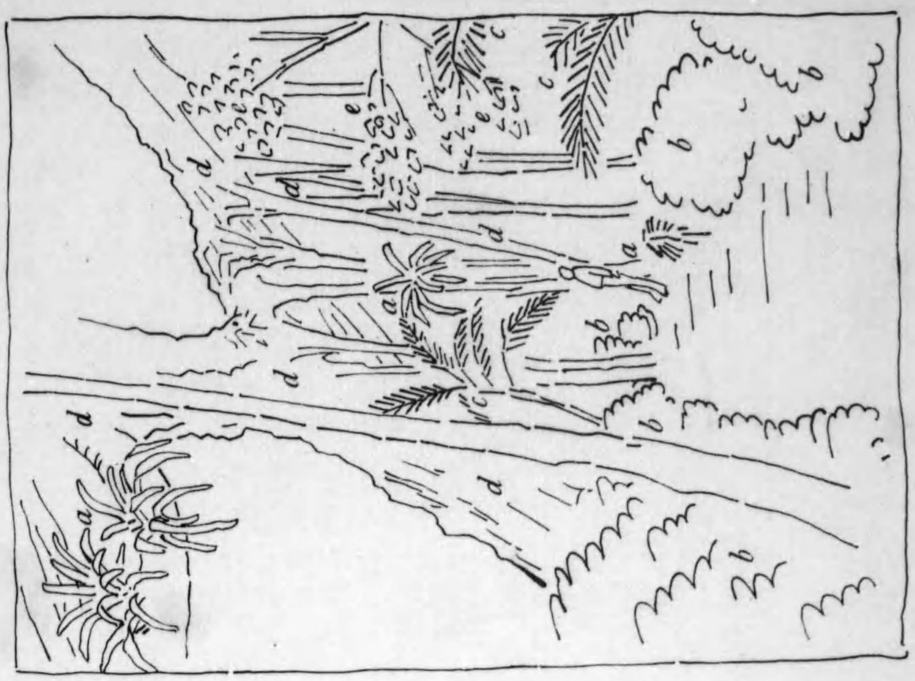
一、中之島產自生植物中(129) Platanthera tentaculata, Reich. *var.* acutifolia, Hayata. ハ其後早田博士ヨリ Cladium glomeratum, R. Br. (わあんぺら)ナルコトヲ報ゼラレシヲ以テ茲ニ之ヲ補正シ、重ネテ同博士ニ謝意ヲ表ス

二、中之島產自生植物中(87) Scirpus sp. ハ其後早田博士ヨリ Cladium glomeratum, R. Br. (わあんぺら)ナルコトヲ報ゼラレシヲ以テ茲ニ之ヲ補正シ、重ネテ同博士ニ謝意ヲ表ス

中之島ノ鬱林（海岸ニ稍近ク溪流ニ沿ヘル部分）

明治四十三年八月四日著者撮影。

a.	Asplenium Nidus, L.	おほたにわたり
b.	Angiopteris evecta, HOFFM,	りうびんたい
c.	Didymosperma Engleri, WARB.	くろつぐ
d.	Ficus retusa, L. var. nitida, MIQ.	がづまる
e.	Thea japonica, NOIS. var. spontanea, MAX.	やまつばき



S. Kawagoe photo.

Phragmidium 屬ノ一新種ニ就テ(豫報)

敎授　農學士　河越重紀

本校第二回林學得業士豐平金助氏、本校在學中、明治四十四年五月中旬、本校附近ナル、鹿兒島郡中郡宇村大字中小字唐湊ナル岩崎氏所有廢園內ニテ Rubus Sieboldi, Bl. (ほうろくいちご)ノ葉ニ一種ノ菌ノ寄生セルモノヲ發見シ、之ヲ一葉採集シ來リ余ニ示シタリ、乃之ヲ鏡檢スルニ、是レ Phragmidium 屬ノ一種ニシテ其形態頗ル特異ナルモノナリ、之ヲ諸書ニ就キテ探ルニ此種ニ相當スルモノナシ、乃圖ト說トヲ作リ標本ヲ添ヘテ、余ガ恩師理學博士白井光太郎氏ニ質ス、博士其新種ナルベキヲ報ゼラル、其後ニ至リ同博士ノ贊同ヲ得テ Phragmidium Rubi-Sieboldii, KAWAGOE. ト命名スルコトトセリ、卽本校學術報告發刊ニ當リ取リ敢ヘズ之ヲ發表セントス、尙此菌ノ生活史等ニ就キテハ他日研究ノ上報ズル所アルベシ。

產　地

上記ノ場所以外ニ於テハ未ダ發見セズ、余ハ其後豐平氏ガ初メテ此菌ヲ發見セシ場所ニ屢至リ、其株ヨリ出デシ葉ニハ年々此菌ノ發生スルヲ見タリ。

發生時期

五月初旬ヨリ六月下旬ニ亘リ、葉ノ裏面ニ冬胞子堆ヲ生ズ、他ノ胞子形ニ至リテハ、未ダ之ヲ發見セズ。

外　觀

葉ノ表面ニハ褐色ニシテ輪廓判然タラザル斑點ヲ生ズ、裏面ヲ見ルトキハ、表面ノ斑點ニ對應スル部分ノ葉脈ヨリ、橙黃色ヲ呈スル絹糸屑狀ノモノヲ抽出ス、是レ此菌ノ冬胞子堆ニシテ、世ニ多ク見ル所ノ銹菌ノ胞子堆ニ比シテ頗ル特異ナル外觀ヲ呈ス（圖版A.）

冬胞子堆

胞子堆ノ部分ヲ薄片トシ鏡檢スルトキハ、營養菌糸ハ皮膚ト靱皮トニ亘リテ蔓延シ、胞子堆ノ底部ハ皮層中ニ起リ、無數ノ胞子柄ハ束狀ニ密集シ、皮層及表皮細胞層ヲ貫キテ外界ニ長ク抽出ス、長キ胞子柄ヲ有スル冬胞子ノ束ハ其全長約二二〇〇μニ達ス（圖版B.）

冬胞子

形ハ長披針狀ニシテ、頗ル長キ柄條ヲ有ス、胞子ハ通常五個ノ細胞ヨリナリ、長サ一三六μ乃至二二一μニ至リ、幅ハ最廣キ部分ニテ一五.六μナリ、最末端ニ位スル細胞ハ其長サ胞子全長ノ半ニ達シ、先端ニ至ルニ從ヒ、漸次狹小シ銳ク尖ル、各細胞間ノ隔壁ノ部分ニ於テ、少シク縊レアリ、膜ハ厚サ二μニシテ、何レノ部分モ殆同ジ厚サナリ、膜ハ平滑且ツ無色ナリ、內容ハ橙黃色ニシテ油滴及顆粒アリ、柄條ハ甚長ク平均二〇〇〇μニ達ス、其膜ハ胞子ノ膜ニ比シテ稍厚ク、約三μアリ、膜ハ平滑ニシテ無色ナリ、其內容モ亦無色ナリ（圖版C.）

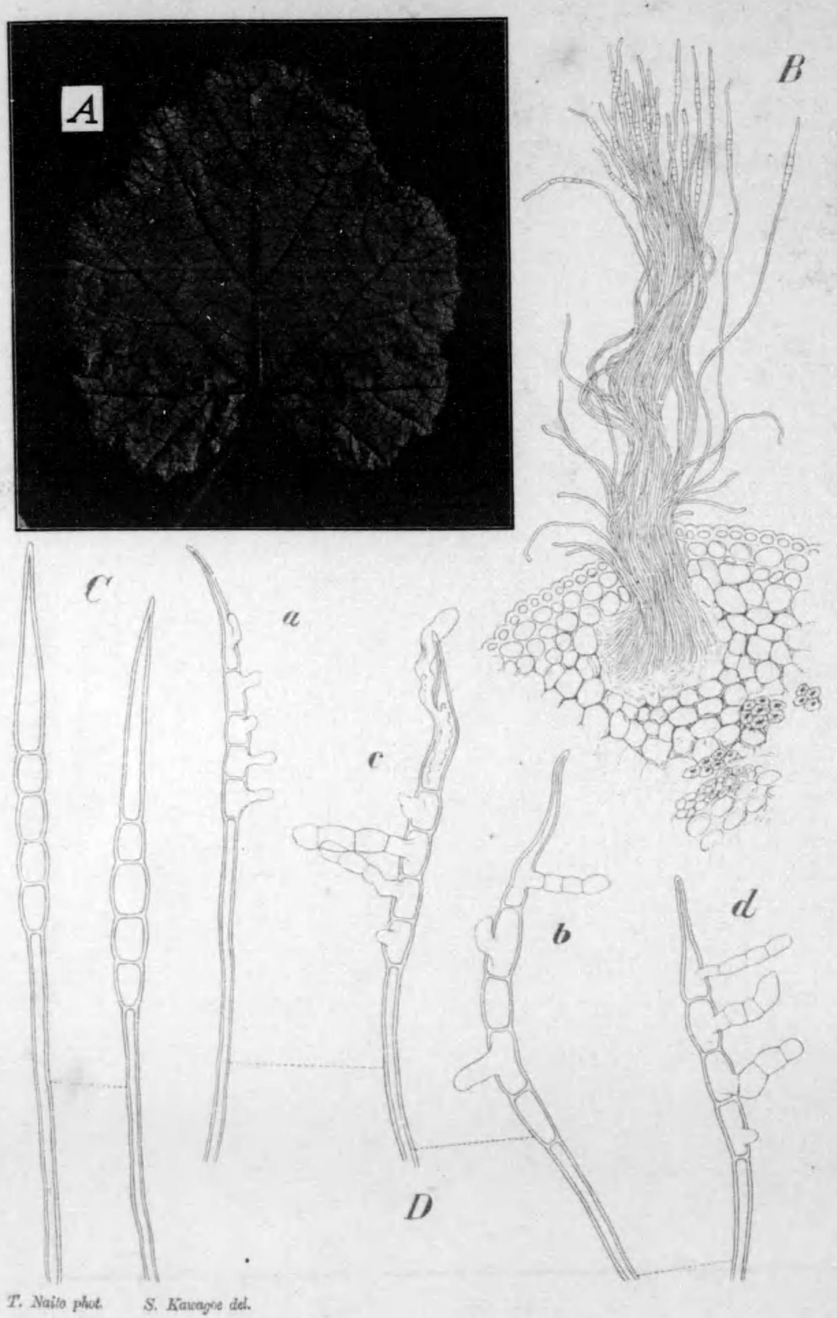
發　芽

新シキ冬胞子ヲ取リ、蒸餾水中ニ播キシニ、翌日直ニ發芽シ、各細胞ノ中央ヨリ前菌糸ヲ抽出セリ、前菌糸ハ四細胞ヨリナルコト、一般ノ銹菌ニ於ケル如シ。（圖版D. *a.b.c.d.*ハ發芽ノ順次ヲ示ス。）

學　名

此菌ハ卽銹菌類（Uredinineae）Pucciniaceae 科、（Pucciniaceae）Phragmidium 屬ニシテ、未ダ命名セラレザル新種ナルヲ以テ、其寄主 Rubus Sieboldii, Bl. ニ因ミ Phragmidium Rubi-Sieboldii, KAWAGOE, sp. nov. ト名ク。

右研究ニ附キ、白井博士ノ懇篤ナル敎示ヲ蒙レル所多シ、記シテ以テ感謝ノ誠意ヲ表ス。



圖版說明

A. Phragmidium Rubi-Sieboldii, KAWAGOE. ノ發生セル Rubus Sieboldi, Bl.（はうろくいちご）ノ葉ノ裏面ヲ表ハシ，菌ノ冬胞子堆ノ多數發生セルヲ示ス。

B. 寄主ノ葉脈ノ橫斷面ヲ表ハシ，菌ノ冬胞子堆ノ縱斷面ヲ示ス。

C. 冬胞子（胞子柄ハ途中ヨリ切斷セラル。）

D. 冬胞子ノ發芽，（*a, b, c, d,* ハ發芽ノ順次ヲ示ス。）

大正五年二月廿七日印刷
大正五年三月一日發行

鹿兒島高等農林學校

發行者　東京市下谷區上野櫻木町四十番地　小松周助

印刷者　東京市芝區愛宕町三丁目二番地　東洋印刷株式會社

印刷所　東洋印刷株式會社

Z 1305

BULLETIN

OF THE

KAGOSHIMA IMPERIAL COLLEGE

OF

AGRICULTURE AND FORESTRY

(KAGOSHIMA KOTO-NORIN GAKKO)

KAGOSHIMA, JAPAN.

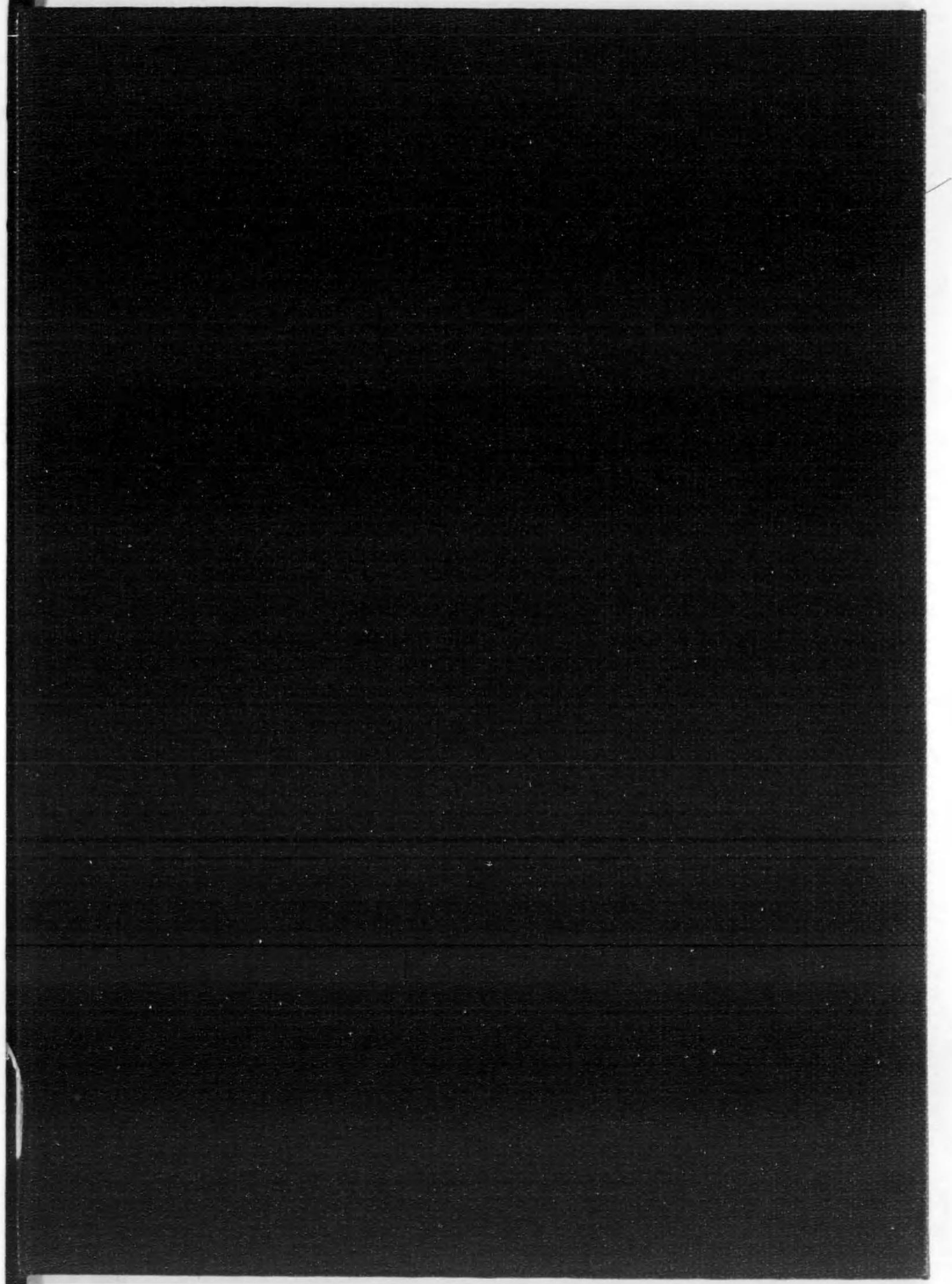
No. 1.

1915.

CONTENTS.

		P.
1.	On the Distribution of Organic Bases, especially Betaines, Purinbases and Choline, in plants. *By Kiyohisa Yoshimura*	1
2.	On the Nitrogenous Compounds in Dried Cod-fish (Gadus Brandtii). *By Kiyohisa Yoshimura and Masumi Kanai*	43
3.	On the Nitrogenous Compounds in "Senji", Condensed Extract of Gymnosarda pelamis. *By Kiyohisa Yoshimura and Masumi Kanai*	51
4.	On the Organic Bases in Dried Roe of Herring. *By Kiyohisa Yoshimura*	59
5.	On the Nitrogenous Compounds in Lygus lucorum Mey. *By Kiyohisa Yoshimura and Masumi Kanai*	65
6.	On the Nitrogenous and Other Compounds in Cortinellus shiitake, P. Henn. *By Kiyohisa Yoshimura and Masumi Kanai*	70
7.	On Synthetic Betaines. *By Kiyohisa Yoshimura*	79
8.	On the Nitrogenous Compounds in Dioscorea japonica, Thumb. *By Kiyohisa Yoshimura and Yahachi Adachi*	88
9.	On the Filora of Tokara-Islands, especially of Island Naka-no-Shima and Island Takara-dzima. *By Shigenori Kawagoe*	93
10.	On a New Species of Phragmidium (preliminary Note). *By Shigenori Kawagoe*	201

Communications are to be addressed to the Director of the College.

77

終